

ケナフの会の活動（2020年度冬期）

ケナフの会ニュースレター60号（2021年2月19日発行）

**緊急事態宣言下ですが、活動を限定しコロナ感染拡大対策を
十分に取った上で楽しく仲良く活動しています。**

（震災慰霊の竹の貰い受け及び竹割り）

- ・震災慰霊の竹の貰い受け、片付けを手伝いました。紙灯籠を増やし竹灯籠を大幅に減らすとの報道がありましたので、貰い受けする本数を大幅に減らしました。（1月18日）
- ・竹割りの日があいにくの雨天となりましたので、園芸倉庫内で実施しました。（2月15日）

（炭焼き）

- ・2019年10月以来の炭焼きを行い、主としてケナフ炭を焼きました。
- ・併せて、焼きリンゴや焼き芋等をつくり、楽しく味わいました。

（2月13日・15日）

震災慰霊の竹をもらい受け、炭材用割竹を造りました (21年1月18日・2月15日)



紙灯籠で作られた慰霊の文字です

炭材に適した長さの竹灯籠を選びました

竹割り ご苦労様でした

- ・「阪神淡路大震災1.17のつどい」が規模を縮小して実施されました。

竹灯籠の大幅な減少等に対応して受取る竹の本数を前年の30%程度にとどめ、三宮東公園にて会員8人で片付けを手伝い貰い受けを実施しました。

- ・木工グループに援助を予め戴いた上で、わケナフの会とKSCケナフの会との合計16人の協働で園芸倉庫内にて貰い受けしてきた竹を割りました。

1年4ヶ月ぶりの炭焼きでケナフ炭を造りました (21年2月13日・15日)



ぎっしりとケナフを詰めました 細心の注意を払い、炭材を窯に入れました

- ・ KSCの休校等に伴い炭焼窯が使えなかったために2020年は炭焼きが出来ませんでしたので、1年4ヶ月ぶりに実施しました。
- ・ 竹炭の在庫が幾分あることから、今回は主としてケナフ炭をわケナフの会とKSCケナフの会とが 連携して21人で造りました。
- ・ 窯上部の温度が高くなりすぎたため出来が心配されましたが、中央部～下部は良いケナフ炭になっていました。

沢山の良い炭ができました